

「シリーズあれから2年」

2007年1月の木のすまい新聞1回目に掲載させて頂きました。神戸市のT様を今回もう一度掲載させて頂く事にしました。と申しますのも、今年頂いた年賀状に神戸市を離れることになりました。とご連絡頂き驚きましたので、すぐにお電話をさせて頂きました。と奥様から主人が仕事の関係で岐阜県にお移りになられるとの事でした。今年の7月でまだ4年目しか住んでいないのに、悲しげでありました。1回目の記事に記載してりましたが、「子供たちの足音が響く家」と言うことで3人のお子様たちが木の家に住んでから自然に関心を持ち、家の植栽や虫などに興味を示していることに気付きました。今の家に住んで本当に良かったと御両親からのお声を頂いたのが、2年



「子供達の感性も豊かになる木のすまいの家」

木のすまい仕様の家

前のことでした。この度の移転は家族皆さんが当然の事ながら、ご主人さんと一番の苦渋の選択だったのだと察します。当初家族が留守の間一生懸命杉の床に蜜ロウワックスを塗っていたのを昨日の様に思い出します。愛着をもってお手入されて頂いた事、自分の家のことの様にうれしく思ったものです。

あれから2年が経ち3人のお子さんたちも感性豊かに育ったことが伺えるのが、写真にあるように庭にあるウッドデッキがお子様たちのキャンパスとなつて岡本太郎（古いかな？）をも彷彿させるすばらしい才能！ご両親がとて心、寛大なことがこの写真からも伺えます。将来のアーティストここにあり！。建築させて頂いた我々もううれしく思う今日この頃…。

空気の流れ

体感温度を左右する要素の一つとして風速があります。風速は10分間の平均をとり1秒あたりの速さで表します。

この風速は毎秒1m強くなることに、体感温度は1℃下がるといわれています。ですから、気温が30℃でも風速が5mあれば、体感温度は25℃くらいにということになります。しかし、自然界で日常的に吹いている風は4m以下。この微量な風を、夏には上手に住居に取り込むことが、快適に過ごすポイントになります。

そのためには、まず家の、どの窓やドアを開けたら風が通るか、また出口をどこにとるかを検討し、ポイントは窓やドアを開けるときの、反対側に対角線上の逃げ道をつくるのが重要です。また、暖かい空気は下から上に流れるので、夏場は木陰や北側の、家の中より温度の低い側の窓を開け、上へ空気が逃げるように考えると、風がない日でも風を呼び込むことができます。さらには通り道が細ければ風力が強くなるため、風が弱い時は、窓を細めに開け、逃げ口を大きく開けると風の流れが良くなります。換気扇を補助的に使用するのも有効な方法です。是非、皆さんも試して見て下さい。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 啓介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資が、さらに使い易くなりました。

従来の融資条件に加え、環境配慮型住宅であれば、融資限度額が拡充されます。

- 新築・増改築
最高融資額：2,700万円（返済期間25年以内）
 - リフォーム
最高融資額：900万円（返済期間10年以内）
- ※いずれも融資金利は平成21年度上半期2.1%固定。環境配慮型住宅の条件は下記をご覧ください。
詳しくは <http://web.pref.hyogo.jp/>まで

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を建てる『家づくりセミナー』（第6期）

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計4回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H21年 5月30日（土）
【第2回】H21年 6月20日（土）
【第3回】H21年 7月18日（土）
【第4回】H21年 8月 8日（土）
- ・時間 13:00～15:30
- ・費用 4,000円（4回分）
- ・場所 2会場同時開催です。

- ①神戸会場 兵庫県民会館
- ②姫路会場 姫路商工会議所

※詳しくは事務局までお問合せ下さい。



●兵庫県環境配慮型住宅

①地球環境の保全、②居住環境の健康・快適性、③周辺環境との親和性の3区分を満たすものとし、融資対象は、次表のとおり各区分毎に1項目以上を選択し、合計3項目以上を満たす木造住宅とする。

①地球環境の保全	1. 「温熱環境に関すること」 年間冷房負担の低減のために、ペアガラス、外断熱等の断熱構造や断熱材の増厚等が行われている「省エネルギー対策等級」が3以上の住宅
	2. 高効率設備機器 エコキュート、エコウィル、ペレットストーブ、薪ストーブ、蓄熱式暖房器、太陽熱温水器等省エネルギー及び自然エネルギー型の暖・冷設備や給湯設備等を設置した住宅
②居住環境の健康・快適性	3. 「空気環境に関すること」 無垢材や特定建材（化学物質の発散の少ないF☆☆☆☆相当のJAS製品）等を使った「ホルムアルデヒド発散等級」が2以上のシックハウス対策住宅
	4. 「構造の安全に関すること」 住宅の長寿命化で解体廃棄の減少につながるよう柱を太くしたり、金物や合板・筋交等で壁を補強した「耐震等級」が2以上の安心な住宅
③周辺環境との親和性	5. 「太陽エネルギーの利用」 国の太陽光発電導入支援対策費補助金受給が可能な太陽光発電設備の設置された住宅
	6. 「環境共生に関すること」 グラスパーキング等の十分な緑化や雨水利用装置等雨水の有効利用等が行われている住宅